

月刊

2015年(平成27年)
5月 Vol.185
大阪府議会議員 活動報告書

1997年6月創刊
1997年6月~9月:週刊
1997年10月~:月刊
発行部数累計:2,603,280部

ただいま活動中!
土井達也

はっきりに発言!
しつかり報告!

大阪維新の会
大阪府議会議員

土井達也Webサイト
<http://www.tdoi.net/>
114.711人

執筆・印刷:土井達也事務所
住所:〒599-0201 大阪府阪南市
尾崎町93-6尾崎山手ビル2F
TEL:072-471-7357
FAX:072-471-8004
E-Mail:t.doi@nifty.com

田尻町・泉南市・阪南市・岬町 版

今後4年間、宜しくお願い致します!

平成27年4月12日(日)に、統一地方選挙前半(全国の道府県議会議員改選)大阪府議会議員選挙におきまして、当選をさせて頂きました。

大阪府議会5月定例会



自分の選挙から、田尻町・岬町議会議員選挙、大阪都構想・住民投票、そして、大阪府議会5月定例会と、ずっと続いています。

大阪府議会 平成27年5月定例会 招集告示も終わりました、5月28日(木)から始まります。

この議会は、改選後、これからの大阪府議会を運営していくために、それぞれ役職を決め、体制を整えていく議会です。

現在は、会派内で会議を繰り返し、委員会の所属や議長や委員長等々のポストを決めているところ。

ずっと重要な案件が続き、この身を投じていました

この間、すべての重要案件に、誠心誠意・全力で取組を行って参りました。目指した結果が出た事柄、出なかった事柄それぞれありますが、本当に全力を尽くさるこ

みなさまの負託に応えるべく、公約実現に、全力を傾注して参ります。

任期は、平成27年4月30日から平成31年4月29日です。

今後4年間、宜しくお願い致します。

とができました。これも、みなさまのご協力のお陰であると、心から感謝を申し上げます。

また、ずっとそれぞれの案件に身を投じていたもので、選挙後のご挨拶に、お伺い出来ておりません。朝立ちも、わずかです。心からお詫び申し上げます。

ご容赦とご理解を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

この衰退していく大阪に、何ら、答えが見つかっていないのが、今の大阪の現状

「大阪都構想」の住民投票の結果、反対多数となりました。

その「対案」として主張されていたのが、総合区制度と大阪戦略会議です。

あまりにもズサンな内容なので、我々は「対案」にすら値しないと考えていましたが、こちらが支持をされたので、これから取組んで参ります。

しかし、「総合区」については、「急ぐ必要はない」と先送りをほのめかされています。また、「大阪戦略会議」は、この5月定例会で議案として上程されますが、

私もビックリしましたが、みなさんにとってもビックリする内容だと思われるので、大阪府議会で特別委員会でも設置して、問題点を広く府民のみなさまにご覧頂こうと考えています。

サワリだけ問題点を挙げれば、

1. 政令市である大阪市と堺市を除く、大阪府内41市町村への大阪府予算が大阪市会と堺市議会によって決定されること。
2. 大阪府知事の予算提案権を侵害すること。

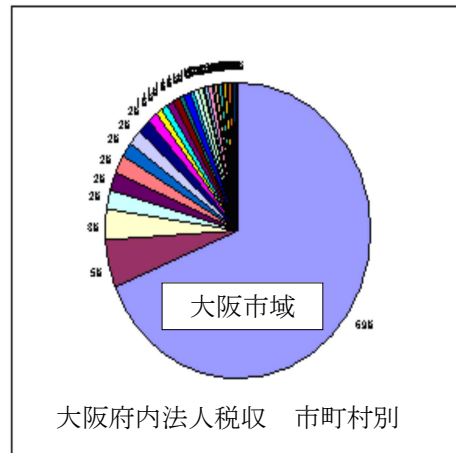
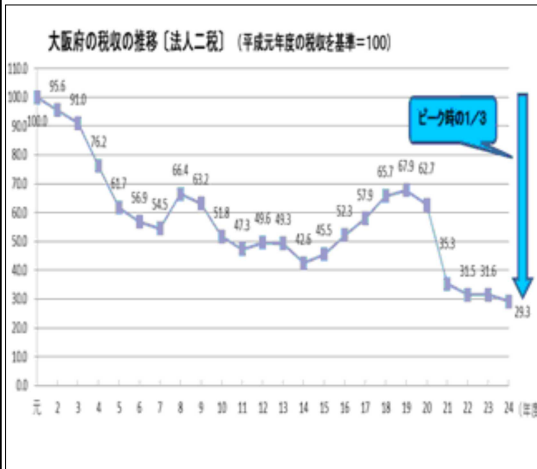
詳細については、今後、ご報告して参ります。

いずれにしても、衰退していく大阪を転換していくような答えとなる代物ではありません。

大阪の成長をいかに求めるか？

大阪都構想がダメになった今、大阪の成長をいかに求めていくのか？ 明確な解（答え）は、まだどこからも出ていません。

大阪府の租税収入の主力は、法人2税（法人府民税、法人事業税）。その法人2税は、現在、ピーク時の「3分の1」まで減少。地方交付税措置で必要最低限は国から賄われているが、自主財源が充実すればするほど府内市町村への再分配は可能になる。



大阪府の租税収入の主力である法人2税（法人府民税、法人事業税）は、大阪市域からの法人税収が、大阪府域全体の約70%を占める。

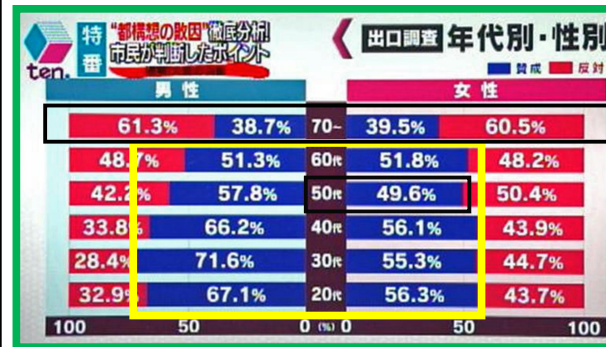
堺市域で、約5%。

大阪市域が成長のけん引役となり、大阪府の租税収入が増加し、政令市を除く大阪府内41市町村へ税の再分配を行い、それぞれの地域で成長の可能性を高めていく。いずれ、大阪全体で成長をけん引できるようにする。

しかし、大阪市域の広域行政（成長分野への投資）の権限は、大阪市。行政の肥大化（横浜市人口370万人；大阪市人口270万人／大阪市の方が職員1万5千人多い）や過剰な住民サービス（敬老パス等）により、広域行政（成長分野への投資）への予算が圧迫されていると言わざるを得ない。

これらの諸問題に解を求めたのが、大阪都構想だったのですがもはやダメ。それでも、まだ上記のどこかを突破することで答えを見つけられるのではないかと考えます。

今後の大阪維新の会について



左は、大阪都構想・住民投票時の出口調査での年代別・賛否です。50代女性を除いて、20代から60代までの男女すべてにおいて、賛成が上回りました（70代以上で反対多数）。

今回、大阪都構想は否決され、任期満了時点で橋下とおるは政治家引退となりましたが、大阪の改革集団として、そして、次世代へ引き継ぐ成長する大阪を創っていく集団として、すべてのご支持に応じていくためにあらゆる可能性を探りながら、大阪維新の会は取組を進めていくことを所属議員一堂確認しました。

土井達也ホームページ

<http://www.tdoi.net/>